

ベトナム出張レポート ②

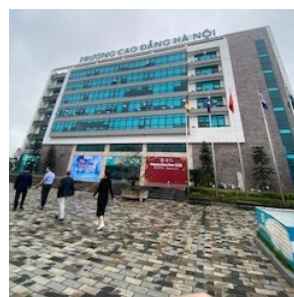


(株)アーク人財紹介センター
代表取締役 嶋崎八洲男

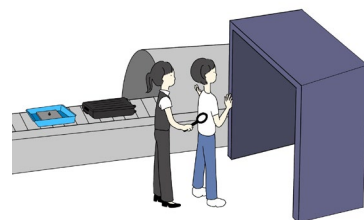
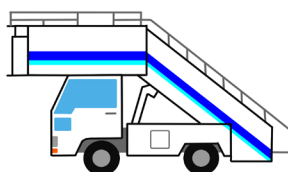
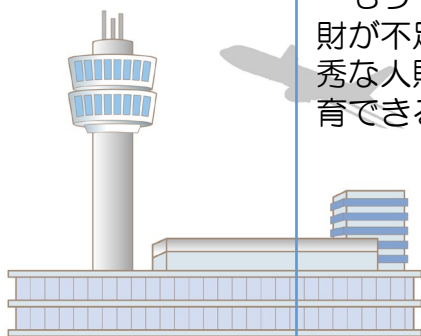
ベトナムハノイのPTM短期大学が順調に建設（増築工事）が順調に進んでおり、すでに出来上がっている校舎では授業が行われておりました。

警備学科のスタートは増設校舎が竣工してからとなります。

日本における警備業界の外国人受入れは2026年度中に認可が下り、2027年から本格的に国内外で特定技能1号および2号の試験が始まり全国の警備会社に**人財を紹介する仕事**が本格的にスタートします。
今後はベトナムのPTM社とタッグを組んでまいります。



もう一つは日本にある全国の空港で**グランドハンドリング**の人財が不足しているために、アーク人財紹介センターも早急に海外から優秀な人財を迎え入れるためにも教育が大切であり、PTMの短期大学で教育できるよう準備を進めてまいります。



ハノイの主要道路に面した土地200坪以上のビアホールを開業し、ビールを中心としたレストランと、カラオケ、マッサージ等を組み合わせた新しいビジネスが展開されることになり、アークも協力する事になりました。

レストラン（ビアホール）、カラオケ、マッサージの3セットは珍しいビジネスです！

ニュービジネス





取締役営業開発部長
石田 和裕

人財紹介業務

人手不足が著しい職業ランキングTOP20 2025年1月発表分

厚生労働省は、公共職業安定所（ハローワーク）に集められる求人や就職の状況を取りまとめて「一般職業紹介状況」として毎月公表しており、その中で「有効求人倍率」を記載しています。有効求人倍率とは、「有効求人数÷有効求人登録者数」で計算される、その職業の人気度のようなものです。今回は**保安職業従事者（自衛官、警察、警備員等）が1位**になりました！

順位	業 種	有効求人倍率
1	保安職業従事者	17.20
2	介護サービス職業従事者	8.38
3	建設・土木作業従事者	6.45
4	接客・給仕職業従事者	5.31
5	飲食物調理従事者	5.27
6	生活衛生サービス職業従事者	4.60
7	電気工事従事者	4.26
8	自動車運転従事者	3.77
9	定置・建設機械運転従事者	3.58
10	販売従事者	2.82

その他情報

日本で働く外国人は初の200万人超え
「特定技能」の外国人労働者数は前年比7割増

日本で働く外国人は前年比12.4%増の204万8675人で、届け出が義務化された2007年以降過去最高を更新したことが、厚生労働省の「外国人雇用状況」の届出状況のとりまとめで分かった。（2023年10月外国人労働者数は204万8675人（前年182万2725人）。前年比で22万5950人増加し、対前年増加率は12.4%と、前年の5.5%から6.9ポイント上昇した。外国人労働者を雇用している事業所数は前年同期比6.7%増の31万8775カ所だった。

外国人労働者数を国籍別に見ると、ベトナムが最も多く51万8364人（外国人労働者数全体の25.3%）。次いで中国39万7918人（同19.4%）、フィリピン22万6846人（同11.1%）が続いた。

在留資格別にみると、「身分に基づく在留資格」が最も多く61万5934人で、外国人労働者数全体の30.1%を占める。次いで、「専門的・技術的分野の在留資格」が59万5904人（29.1%）、「技能実習」が41万2501人（20.1%）の順となっている。

「専門的・技術的分野の在留資格」のうち「特定技能」の外国人労働者数は13万8518人となり、前年比5万9464人（75.2%）増加した。

【出典：20240205日本人材ニュース】

外国人採用を拡大する企業16.7%、飲食店、旅館・ホテルなどのサービス業で採用意欲が高い傾向

外国人の採用について尋ねたところ、企業の16.7%が外国人労働者の採用拡大を見込んでいることが、帝国データバンクの「外国人労働者の雇用・採用に対する企業の動向調査」で明らかとなった。

【業種別 外国人労働者の採用を「拡大」する企業 トップ5】

飲食店	44.0%
旅館・ホテル	35.8%
人材派遣・紹介	33.8%
医療・福祉・保健衛生	26.9%
自動車・同部品小売	25.8%

【出典：20240205日本人材ニュース】

